



ルーテル学院大学
日本ルーテル神学校

後援会 News

no. 157 2025.3.1

発行 | ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
後援会
編集 | 推進委員会

— ともに支えましょう —

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20 TEL:0422-31-4611 FAX:0422-33-6405 URL: <https://www.luther.ac.jp/college/donation/>



卒業生の皆さん、ルーテルの輝きと共に！

— ご卒業おめでとうございます —

後援会 会長 小澤 周司

新しい職場や生活環境への夢や希望を胸に
社会人としての準備を進めておられることと
思います。

皆さんが入学した頃は、新型コロナウイルス
感染症の影響で、学校でも人流抑制の対策
がとられ、学友と机を並べることもないオン
ライン講義が大半でした。はたして卒業の日
を迎えられるのかどうか心配されたことで
しょう。

一方、世界中をみると、ウクライナやガザ
地区での戦争が激しくなり、銃弾やミサイルが
飛び交い続け、沢山の命が失われるとともに
追われた難民が苦しんでいます。また、地球

温暖化の影響による水害・干ばつ等が各国で
発生していて、多くの人々の生活の場が失わ
れています。日本の国内でも、ゲリラ豪雨等
による各地での水害や、千年に一度といわれ
る能登半島地震等の災害が発生していて、地
域社会での人と人との結びつきが重要な課題
となっています。実感のわかないニュース情
報の世界から、ふと、身の回りに目をやる
と、声を上げられずに佇んでいる方々がそこ
にいます。皆さんは対人援助の専門職として、
これまで一生懸命に学んでこられました。
どうか、それぞれに与えられた場所で、ルー
テルでの学びとミッションを輝かせてください。

ルーテルの輝きと共に新しい道を歩んでくだ
さい。

後援会は、ルーテル学院大学・神学校の
ためにいつも祈り、献金を捧げて、物心両面
から学校を支える活動をしています。卒業生
の皆さま、保護者の皆さまも、全国にある約
150 のルーテル教会の信徒や、先輩の同窓生
の皆さま、ルーテルのミッションに賛同して
くださっている沢山の方々とともに、是非と
も今度は学校を支える側に回ってください。
ご卒業おめでとうございます。

神さまがお一人おひとりの進む道をお守り
くださいますように。



母と（比叡山を背景に鴨川にて）

卒業生からのお祝いメッセージ

祈りと支えをもって……

神学科キリスト教社会福祉コース 卒業生
日本福音ルーテル大岡山教会

池田 理恵



ご卒業おめでとうございます。
36 年前の卒業式での私は「フィリピンに留学予定」
でした。今後どうなってしまうのか不安定だけど、希望に
満ち溢れていた記憶があります。

あれから紆余曲折があり、現在は横須賀に
ある NPO 法人でアスベスト（石綿）に曝
されてから数十年後に発症し、完治もしないとい
う「中皮腫」（特に悪性 胸 膜 中 皮 腫）患
者さんたちの労災などの補償や企業に対する
損害賠償などのサポートをする仕事に就いて
います。患者さんだけではなく家族のサポー

トもする、いわば「命を見つめる」仕事で
す。現在に至るまでも、「ルーテル」の絆は
深く、ターミナルケアとグリーフワークの授
業を何回も聴講し、先輩方とのネットワーク
で緩和ケアに繋がったり、いろいろな形で支え
られてきました。数年前に私自身も「慢性リン
パ性白血病」という完治しない病に罹患
し、闘病中となった今は更に患者さんたちと
も命の尊さを見つめ合いながら、石居学長を
はじめとするルーテルの皆に祈られ、支えら
れながら生きています。

ルーテルで学んだことは一生の宝物です。
そしていつでも帰ることができます。戻る場
所が無くならないように支え合う場を継続
していけたらと、わずかですが毎月支えて
います。

皆さんのこれからの歩みが祝福されますよ
う祈ります。

ルーテル・ブランド

大学院臨床心理学専攻 修士生
ルーテル学院大学 非常勤講師

河村 従彦



ご卒業おめでとうございます。
この時期にルーテル
を巣立っていかれることには、今までとひと味違う意
味で価値があると思います。

入学する方が無期限で皆さまの後に続くわ
けではありません。その分、ますます価値高
いお一人おひとりであることに特別な感慨を
覚えます。

最初のキャリアはプロテスタント教会の牧
師でした。人生も半ば、臨床心理士をとりた
いという願いでルーテルにきました。卒業後
は、牧師の現場だけでなく、臨床にも関わり

を拡げることができました。

ルーテルでは、先生方からレベルの高い学
びをいただいたと思っています。何を学んだの
か。「プロ意識と寄り添い」のルーテル・ブ
ランドです。卒業後の自分を支えてくれました。

ブランディングという表現はビジネスで使
われますが、少し意味が違います。人間が意
識して作り上げたものではない、「寄り添い
をもって仕える」歴史の蓄積の中で自然に与
えられたものと理解しています。その息吹
が、皆さまの中にも自然に根づいていること
と思います。

入ってみて、後援会が熱いご支援をくだ
さっていることに感動を覚えました。後援会
の皆さまがルーテル・ブランドにご賛同くだ
さっていたからではないかと思います。今後は、
皆さまが後援会の輪に加わってご活躍いた
だけることを願っています。

— 地区だより —

10月26日（土）・27日（日）

熊本地区世話人会・ 宗教改革記念音楽会

日本福音ルーテル健康教会
白鳥 哲

地区世話人会は小澤周司会長をお迎えし
て26日に健康教会で開催されました。出席
者は16名（世話人7名、牧師4名、九州
ルーテル学院から院長代理・中高校長・チャ
プレン、九州学院からチャプレン）で、日笠
山牧師の開会の祈りを持って会が始められま
した。

小澤会長から、大学・神学校の現状と今後
の問題について報告があり、その後出席者に
よる意見交換の時間になり、大学の閉校に卒
業生、世話人は残念な思いだが、神学校の存

続に安堵している。ただ神学校の存続には経
営的な厳しさも出てくるので、大学の広い土
地の活用やオンラインでの教育などの検討も
必要がある。大学への進学希望はあるが、そ
の後の神学校・牧師まで繋がる難しさがあ
る。牧師不足もあり、牧師の負担を考えると、
それぞれの地域で、教会でもっと支えて
いく必要性を感じる。学生寮の改築やパイプ
オルガン設置の募金等、後援会は大きな働き
をしてきた経緯があり、神学校を支えるため
大学と情報を共有しながら今後も頑張ってい
きたい等、活発な意見交換がなされました。

翌27日の午後は、ルーテル学院中学・高
校礼拝堂で宗教改革記念音楽会が開催され、
地区の教会員、中高生、大学生など約100
名が集い、多田牧師よりルター初期の讃美歌
について学び、また共に賛美する時間を過
すことができました。



日本福音ルーテル健康教会



音楽会プログラム

後援会献金のお願い

日頃より後援会の活動にご理解とご協
力を頂き、誠にありがとうございます。

ルーテル学院大学・大学院は2025年
度以降の学生募集停止を発表いたしました。
しかし、現在も300名以上の学生
たちが「働き人」になるために学んでお
ります。また、ルーテル学院大学・大学
院は在学生全員が卒業するまで、教育研
究活動を続けることを約束しています。

後援会は今まで以上に「祈りと献金」
でルーテル学院を支援してまいります。
引き続きお力添えを頂きますようお願い
申し上げます。

2025年度の発行について

本誌は以下のとおり発行スケジュールを
変更いたします。

発行月：6月、12月

今後は動画配信など、見やすい情報提供
方法も活用してまいります。